

経営学部の求める教員像及び教員組織の編制方針

(1) 求める教員像

- 本学の求める教員像を踏まえ、経営学部における教育・研究・社会貢献・管理運営の各種活動に意欲的に取り組める者
- 経営学部の人材育成に関する目的、卒業認定・学位授与の方針等に掲げる能力を教授するにふさわしい経営分野の各領域を俯瞰する学際的及び国際的な広い視野を有するとともに、客観的かつ柔軟な発想で社会状況の変化を分析し、あるいは最新の研究成果を現場で実践すること等により、継続的にその資質・能力の向上に努める者
- 理学と工学の知識に基づき数理・数量的かつ実証的アプローチを積極的に活用した経営問題の考察・分析に関する研究能力を有するとともに、経営・経済に関連する諸問題の究明や解決に貢献できる者
- 多文化共生を推進し、国際的なコミュニケーションを促進することにより、経営学部のグローバル化に貢献できる者
- 周囲の教職員と多様性を認め合い協働しながら、経営学部・所属学科における教務・入試・学生支援・広報をはじめとする学部内各種委員会、研究・教育セミナー等の活動に対し、自らの役割を果たすとともに、大学全体の管理運営にも寄与できる者

(2) 教員組織の編制方針

- 経営学部・各学科の目的、方針（ポリシー）を実現するために必要な教員を適切に配置する。
- 経営学部・各学科における教育研究活動を継続的に実施するため、職位・年齢・性別・学問分野等のバランスを考慮し、多文化共生社会において偏りのない配置を踏まえた多様な人材を配置する。
- 教務・入試・学生支援・広報をはじめとする学部内各種委員会、研究・教育セミナー等の各種活動に対して、教員間で連携・協働するために、適切にその役割を分担する。
- 教員の募集・採用・昇任等にあたっては、経営学部・学科の運営に資する人事であるかに留意し、本学の関係諸規程等に基づくとともに、透明性・適切性を担保しつつ、公正・公平に行う。